

先進事例 紹介

消防団など地域で活躍する大学生の就職活動を応援！

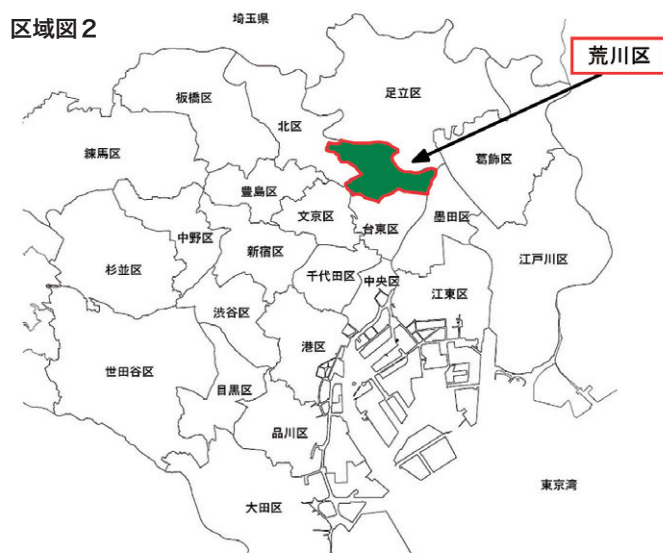
～荒川区青年社会貢献活動認証制度～

東京都 荒川区

荒川区では、消防団をはじめとする地域活動やボランティア活動で顕著な実績を残した大学生を公的に認証し、同時に就職活動を応援する事業を実施しています。地方自治体における取組事例として、概要を紹介させていただきます。

1 荒川区の概要

荒川区は、東京都の東部に位置し、東京23区のうちで21番目の10.20km²の面積を有する区です。隅田川が区の北東部に穏やかに流れ、区の大部分は起伏のない平坦な地形となっています。



人口は、交通利便性や区の施策効果などにより増加傾向にあり、平成26年11月時点でおよそ20万9千人。再開発による大規模なマンションと、東京の下町の雰囲気を残す街並みとが混在しており、木造住宅が密集する地域の災害対策については、重点的に対策を進めています。

区民の足として親しまれる路面電車「都電荒川線」のほか、全国的にも珍しい公設の遊園地「あらかわ遊園」、色とりどりの布地等を販売する店舗が並ぶ「日暮里（につばり）繊維街」でご存知の方も多いと思いますが、日光街道の宿場町である千住（せんじゅ）は、松尾芭蕉が奥の細道へと旅立った地として知られています。

2 荒川区青年社会貢献活動認証制度

(1) 事業開始の経緯

荒川区には、荒川消防団と尾久消防団の2つの消防団があり、荒川消防団は8分団、尾久消防団は6分団により構成されています。消防団員の充足率は定員500人に対して9割弱であり、団員増加に向けた取り組みを強化することが課題となっています。

こうしたなか本区では、大学生等を対象として、地域活動等の社会貢献活動に顕著な実績があった方を公的に認証し、同時に就職活動を応援する事業「荒川区青年社会貢献活動認証制度」を、平成23年度から実施しています。

いわゆるリーマンショックを機に雇用情勢が悪化し、特に若年者の就職が厳しさを増したことを受けて、「次代を担う若者の活躍を応援しよう」「厳しさを増す大学生の就職を支援しよう」と考えて開始しました。

(2) 事業の対象者など

本事業は、公的認証を具体的に就職活動に活かしてもらうため、就職活動を予定している大学生と大学院生を主な対象者としており、この趣旨にもとづき、卒業後3年までの既卒者を対象に含める一方で、大学1、2年生を対象から除外しています。

認証の対象となる活動は、消防団活動などの地域活動やボランティア活動などの「社会貢献活動」です。なお、

区内で行われた活動であれば、区民だけでなく区外在住者も認証することが可能であり、区民の方が行った活動であれば、区内だけでなく区外での活動実績も対象とすることが可能です。これは、本区の事業でユニークな点です。

(3) 事業の実績等

区では、平成23年度から平成25年度までの3年間で34人の方を認証しました。これまで、消防団活動、青少年育成団体での活動、中学校での補習活動、障がい者向け健康体操の普及活動などで実績のあった方々を認証しており、このうち消防団活動で認証を受けた方は3人となっています。

認証の候補者については、広報誌やチラシ、ホームページで自薦を広く募集するとともに区内部からの推薦を受け付け、書類審査を経て審査会で認証を決定します。認証した方には、区から「認証状」を交付するとともに、就職活動に関する情報提供やアドバイスなどの支援、相談窓口の紹介、就職面接会の案内などを行っています。

行政が認証を行う効果としては、地域社会と大学生を結びつけるきっかけとなること、大学生は、就職活動の中で公的に認証を受けたことをアピールできること、一方、企業は、行動力やコミュニケーション力のある学生を見つけやすくなることがあげられます。

3 結びに

消防団については、平成26年11月28日、消防庁から都道府県知事及び各指定都市市長あてに「消防団の充実強化に向けた当面の重点取組事項について」が発出されたところであり、いっそうの充実強化策が求められています。

本区が実施する「荒川区青年社会貢献活動認証制度」は、上記通知で実施奨励された「学生消防団活動認証制度」と同様の仕組みをもつ事業です。本区の事業が参考となり、同様の事業が全国各地で実施されることを期待するとともに、今後とも、消防行政へのご協力を行ってまいりたいと存じます。



西川区長からの認証状の交付



認証式後の記念撮影



認証状 (参考)